



ながしま 議会だより

NO.22

**ツワブキの鮮やかな黄色花が
ひと足先に長島路を一周します**

9月定例会

(H23.9.12～9.21)

定例会で決まったこと	2～5
施策を問う（一般質問）	6～9
常任委員会の審査報告	10～11
所管事務調査報告	12
議会のうごき	13

6千円を追加

総額108億7074万7千円



↑小浜地区の住宅地造成（小浜ふれあい広場付近）の現地を調査

平成23年第3回長島町議会定例会は、9月12日から21日までの10日間の会期で開かれた。

平成22年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率など2件が報告され、平成23年度の一般会計補正予算や特別会計補正予算、長島町立学校給食センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例などを審査。議案10件を可決、陳情4件を採択した。

このほか、「離島振興法」の改正・延長を求める意見書など発案1件、発議4件を可決、人権擁護委員候補者を推薦することに決定した。

一般会計予算に

6億1649万

平成23年度の一般会計補正予算（6億1649万6千円追加、総額108億7074万7千円）のほか、国民健康保険診療施設、介護保険、簡易水道、農業集落排水、漁業集落環境整備の5特別会計補正予算を原案可決した。

今回補正された予算の主な事業は次のとおり。

主な事業

- 防災無線の整備、修繕・・・・・・・・・・・・・・・・・・4,400千円
- 住宅用火災報知器設置状況、防災無線の不具合調査等・・・・9,543千円
- 各集落へ防犯灯を設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,783千円
- 定住促進を図るための空家改修補助金・・・・・・・・・・3,000千円
- 要介護者のマップを整備等・・・・・・・・・・・・・・・・6,311千円
- 観光PRのための雇用、ポスター製作等・・・・・・・・・・3,445千円
- 第2回夢追い長島花フェスタ開催委託料（H24春開催）・・・・10,000千円
- 活動火山周辺地域の防災営農対策による施設整備・・・・・・・・24,600千円
- 鳥獣被害防止のための施設整備・・・・・・・・・・25,282千円
- 農道の維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・19,900千円
- 農業用施設の災害復旧・・・・・・・・・・・・・・・・16,201千円
- 農地の災害復旧・・・・・・・・・・・・・・・・・・46,355千円
- 町道の維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・10,000千円
- 観光地周辺道、通学路周辺の安心安全な整備・・・・・・・・12,313千円
- 藤之元口之福浦線の改良工事等・・・・・・・・・・23,054千円
- 汐見地区の急傾斜地崩壊対策事業・・・・・・・・・・6,500千円
- 鷹巣地区に公営住宅2棟4戸を整備・・・・・・・・・・49,000千円
- 小浜地区の住宅地造成・・・・・・・・・・・・・・・・24,165千円
- 町道の災害復旧・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,259千円
- 町管理河川の災害復旧・・・・・・・・・・・・・・・・31,511千円
- 鷹巣診療所の放射線漏えい防止工事・・・・・・・・・・1,365千円
- 鷹巣診療所の医用画像診断モニター購入・・・・・・・・1,145千円
- 伊唐の既設さく井調査・・・・・・・・・・・・・・・・1,680千円
- 鷹巣の農業用集落排水施設の修繕、整備・・・・・・・・8,731千円



火災報知機の設置状況を調査



藤之元口之福浦線を改良



鷹巣地区の公営住宅整備地



増築して統合された長島町立学校給食センター

条例

学校給食センターを統合

鷹巣学校給食センターを増築して、指江学校給食センターを統合することにより、長島町立学校給食センター設置及び管理に関する条例の一部を改正した。

発委

離島振興法の改正・延長を求める意見書

委員会発委により「『離島振興法』の改正・延長を求める意見書」を可決した。

諮問

人権擁護委員候補者の推薦

現人権擁護委員の餅原美榮子氏（川床中）が平成23年12月31日で任期満了となるため、引き続き同氏を人権擁護委員の候補者として推薦することを決定した。

条例

長島町税条例等を改正

現下の厳しい経済状況や雇用情勢に対応して税制の整備を図るため、地方税等の一部を改正する法律等が施行されたことに伴い、長島町税条例等の一部を改正した。

報告

健全化判断比率と資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めるところにより、長島町における平成22年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率について報告された。

認定

平成22年度長島町決算の認定

平成22年度長島町決算を議会の認定に付されたので、決算特別委員会を設置し、継続審査とした。

報告

長島町観光公社の経営状況

町が出資している財団法人長島町観光公社の平成22年度事業の実績と決算について報告された。



契約

蔵之元漁港整備の契約

蔵之元漁港整備交付金工事を米盛建設株式会社（鹿児島市）と契約締結することを議決した。



契約

火葬場改修の契約

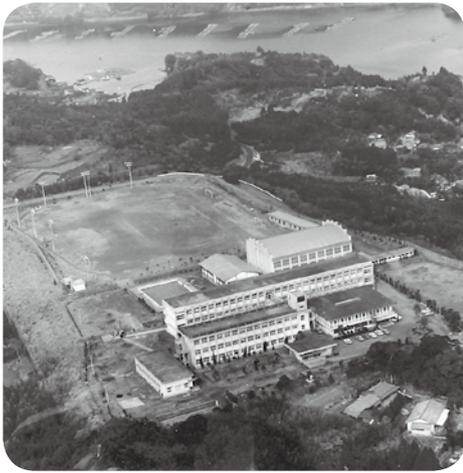
長島町火葬場不知火苑改修工事を太陽築炉工業株式会社（福岡市）と契約締結することを議決した。



その他

高校跡地の活用調査

廃校となった長島高校の跡地活用を調査するため「長島高校跡地活用調査特別委員会」を設置した。



陳情・発議

ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書

すべての肝炎患者の救済を求める鹿児島県民の会から提出された、陳情「350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択について」を採択し、議員発議により意見書を可決した。

30人以下学級実現等の意見書

鹿児島県教職員組合長島地区協議会から提出された、陳情「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択について」を採択し、議員発議により意見書を可決した。

地方財政の充実・強化を求める意見書

長島町職員組合から提出された、陳情「地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書」を採択し、議員発議により意見書を可決した。

TPP交渉参加反対に関する陳情書

鹿児島県いずみ農業協同組合と県農民政治連盟いずみ総支部東・長島支部から提出された陳情「TPP（環太平洋連携協定）交渉参加反対に関する陳情」を採択し、議員発議により意見書を可決した。

一般質問

施策を問う

下塩見 浩 議員



防災対策の取り組みは大丈夫か

質問 自主防災組織の

機能が十分に活用されていないのではないかと思う。集落単位で、毎年自主防災組織図の提出と、防災の日を制定し、地震や津波、台風や豪雨災害等を想定した実技訓練をし、さらに報告書を消防分遣所に提出するようにしたらどうか。また、防災に対する情報は、町民全員に伝達されな

見直しを行い万全の対策を図る

答弁 町長 自主防災組織も100%達成したが、実践が伴っていないと感じている。防災の日を設置し、それに合わせて防災訓練ができないか、実現に向けて検討を進めたい。今後見直しを行い、万全の対策を図る必要がある。

れば意味がない。現在防災無線の伝達状況の把握や維持管理の取り組みは、更に、集落独自のハザードマップや、日ごろから海抜を意識してもらったために、海抜表示板を公民館や小学校、公共施設にも設置できないか。住宅用火災警報器の設置について、4月1日現在で45・4%であったが、現在の設置率と今後の取り組みは。

情報伝達について防

災行政無線施設の適正な管理を徹底し、今後受信状況の調査を行い災害に強い通信回線を構築したい。集落マップは必要だと考えている。海抜表示板も集落からの要望があればすぐにでも設置できるし、町としても積極的に取り組みたい。住宅用火災報知器について、7月1日での設置率は54・7%である。今後設置状況の調査を行い、設置率の把握と

設置済みステッカーの貼り付けや、未設置住宅への積極的な設置の推進を行う。

新生活運動の検討・見直しが必要では

質問 新生活運動につ

いて、儀式によってはその成果がでていないと感じている。しかし、結婚式については中身の見直しが必要であると思う。また、初盆は基本的な考え方が浸透してきたので町で統一できないかと思う。他にも見直しなどの検討課題もあると思うが今後の考えを問う。

効果があり継続し推進する

答弁 町長 結婚式は実践されていないと思うので努力する必要がある。また、葬祭も香典返し「辞退しおりの活用で守られてくる

と思う。新生活運動を「始めてよかった」「効果があった」という意見が多く、今後も継続して運動を進めるべきと考えている。

答弁 教育長 初盆については、新生活運動の趣旨に沿っていれば、集落の伝統的なものもあるので、統一しなくてもいいのではないかと考えている。

国際交流や学校間交流の実施状況は

質問 韓国吉祥面友好

親善交流事業は、外国との交流や見聞を通じて国際的な視野を広げ、さらにこれにより

自国を見直し、郷土愛を培うことを目的として実施されている。しかし、現在実施されていない状況である。実施されていない理由と今後の考えは。また、長島の学校で

しかできない交流で、児童生徒の友達づくりや思い出づくりに加え、郷土を愛する児童生徒の育成ができると思う。今後、町内の小学校の交流事業は実施できないか。

交流事業は今後も実施する

答弁 町長 平成22年1月に韓国で口蹄疫が発生したことや、朝鮮半島の治安状態が悪く、平成22年度は見送った。今後完全に口蹄疫や鳥インフルエンザ等が終息し、治安の安定が確認されれば国際交流事業を再開したいと考えている。

答弁 教育長 児童生

徒の交流事業は既に実施しているが、小中学校間の交流事業を通じて、多くの子ども達の触れ合いができ、さらなる交流が深まるよう今後も努力したい。

川上 勇 議員



行政改革計画の策定を問う

行政改革の実績は

質問 本町では、平成18年2町合併を行い、その年の12月、行政体制の強化および無駄を省いて住民サービスの向上を図るため、行政改革大綱が策定され、平成22年度までの5年間実施された。その実績評価を伺う。

行政効果があった

答弁 町長 議員・農業委員の定数削減・財政運営の健全化・小中学校の統廃合、職員数の適正化および意識改

革等順調な成果があったと理解している。

今後の行政改革計画を問う

質問 東日本大震災の災害復旧のため、国・県の財政事情の厳しさが予想される中、複雑多様化する町民の要望に積極的に対応するため、行政改革の継続と町有施設管理の民間活用

行政改革大綱策定を行う

答弁 町長 行政改革期間中に実現できなかった事項もある。今

年12月までには、行政改革大綱の策定を行う。主な内容は、庁舎利用方式の検討、課の設置見直し、遊休財産処分、指定管理の推進等である。

学校統廃合推進計画を問う

今後の推進計画は

質問 長島本島の学校統廃合計画は、小学校9校を4校に、中学校4校を1校とする計画。本島での今後の推進計画を伺う。

校区での説明会開催

答弁 教育長 完全に複式を持つ小学校では、その校区毎に説明会を実施する。中学校は、全部の校区で説明会を開催する。学校統廃合は、地域住民の意見を聞いて進めるとの指摘もあるので、説明会でアンケート調査の

必要を感じたら実施す

る。

中学校を2校とする見直しを問う

質問 次の点から中学校を2校に統合する考えはないか伺う。

①平成28年度まで中学生は2人減って308人となる見込み。

②複式学級の解消を原則とする統合計画が中学校を1校にする計画は、極端すぎではないか。

③統合して残る中学校と廃校だけの地域とは格差が生じる。

④中学校の統廃合は、慎重に対応し、旧両町に1校ずつとすべきとの強い声が多くある。

当初の1校で推進

答弁 町長 中学校は、教員の専門教科担任確保を基準とした答申に従い1校への統合で推進する。地域間格差は行政の仕事として

その解消に努めたい。

住民説明会での意見を聞いて判断

答弁 教育長 学校統廃合推進委員会で承認を得ているので1校で進める。2校にすべきかは、住民の意見を聞いた中で判断したい。

戦没者追悼式会の壇上へのスロープ等の設置を問う

安全対策を急げ

質問 毎年、戦没者追

悼式が行われている。終戦後66年経過し、参加者から会場壇上へのスロープ等の設置要望がある。早急な改善を問う。

安全な対策を行う

答弁 町長 仮設のスロープをつくるか、会場を変更するか遺族会とも協議し、安心して戦没者追悼式に参加できるように改善を行う。



戦没者追悼式

濱 実男 議員



獅子島架橋建設

は

質問 私達の先輩方は、昭和の代から、また平成6年には架橋期成会を設置し毎年、県・国に運動や陳情を行ってきた。今までの情熱が通じ、島の内容や地域性は理解していただいているが、基金での架橋建設の実現性はあるのかを問う。

答弁 町長 架橋建設の必要性については、関係各省市や県にもお願いし続けているところであるが、ありとあらゆる方策を考える必要

答弁 町長 今後、天草市とも経常経費の見直しや経営改善に向けて検討する。産業を興す意味から回数券の助成は継続して実施していくべきだと認識している。

特別支援教育支援員配置を問う

質問 新学期が始まる前、特別支援教育支援員がほしいと手を挙げた学校は12校あったが、現在は6校・7人の配置と寂しいが、支援員のいない学校は、問題ないのか。今後はどのように考えているのかを問う。

答弁 教育長 授業の展開上、学習の必要上、支援が必要だと判断すれば配置する。学校教育課の職員が実情をよく把握して配置する。

天長フェリーの運航助成は

質問 長引く不況、燃料の高騰、利用者の減少で赤字が出ている。今後も厳しい状況が続くと予想される。島内の利用者は往復券(約2割引)を利用してはいるが、継続するのかわるのかを問う。

答弁 町長 架橋建設の必要性については、関係各省市や県にもお願いし続けているところであるが、ありとあらゆる方策を考える必要

傍聴においでください

次回定例会は **12月上旬** 開会予定です

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。第3回定例会では、川床老人クラブ矢岳会の皆さんが傍聴されました。

次回定例会は、12月上旬の開会を予定しています。皆さんの傍聴をお待ちしています。

なお、役場ロビーや長島町ホームページでも議会中継を見ることができます。



林 義明 議員



**社会体育の振興
で運動場の整備
計画は**

質問 運動場は、町内の鷹巣、川床、城川内の三カ所にある。特に旧東町では、総合運動場建設検討委員会に総合運動場を建設するについて諮問がなされ、一カ所への位置決定は困難であることから、既存の施設を考慮しながら鷹巣地区、川床上原地区の分散型とする回答がなされ、川床地区を中心に整備されてきている。合併後、鷹巣運動場の整備は大規模工事がされていない

いが、どのような計画になっているのか伺う。

答弁 町長 鷹巣運動場の整備計画は、町長



鷹巣運動場

に立候補する際に政策目標を掲げて手をつけていない事業の施策の一つであり、本町の中心的運動公園として、鷹巣運動場を抜本的に整備したいと考えている。平成21年度鷹巣運動場は、グラウンドの内野部分の土の入れかえ整備、バックネットの補修を実施、また鷹巣運動場を総合運動公園として整備しようとする場合、土地開発基金に3億5千万円積み

立て、整備計画についても、町有施設のあり方検討委員会に諮問をしている。今後は、町有施設のあり方検討委員会の答申を参考にしながら、有効な補助事業など研究していききたい。

農業振興策は

活動火山周辺地域防災
営農対策事業の取組

みは

質問 火山の爆発により著しい被害を受け、または受ける恐れがあると認められる地域において、平成23年度より新たな事業として計画されているが、本町の事業の取組みについて伺う。

答弁 町長 平成23年度より対象地域に隣接する市町村の全部または一部の地域として出水地域が認められた。本年度は、本町で1団

体が事業導入を進めている。採択基準は3戸以上の農家で共同利用できる機械、施設、補助率も7割補助と高率で、町も農業振興を図るため5%上乗せ補助を行い、農家負担の軽減を図り事業を推進したい。

気象観測施設の整備活用は

質問 現在設置されている気象観測施設は平成6年度、町内4カ所に設置したもので、雨量、気温等がリアルタイムに記録されるものであるが、現在どのように記録し、活用されているのか伺う。

答弁 町長 施設整備から16年を経過し、パソコン、プリンターなどの機器が老朽化し、観測した気象データを有効に活用されていない状況にあり、また旧

長島町地域においては、気象観測室が整備されていない。今後は、整備や機器の更新、また旧長島町地域での観測設備の整備等を検討する。

獅子島の農業振興は

質問 獅子島地区のバレイシヨの本年度の作付計画と今後の振興対策について伺う。

答弁 町長 振興策として、平成22年度からバレイシヨの試験栽培を実施し、定着を図る計画であるが、本年度は新たに6人の栽培者が増えるとのこと。今後については、補助事業等により土地基盤整備を進め、栽培面積の拡大を進めていきたいと考えている。結果、獅子島架橋の実現につながるよう努力する。

常任委員会の審査報告

総務民生常任委員会

委員長 磯永 秀生

▼町民福祉課関係

問 老人福祉費の「地域支え合い体制づくり事業」のニーズ調査人数とマップ整備の内容は。

答 民生委員を対象に10地区10人を予定し、マップの内容は、災害時の要支援・要介護者を必要とする老人把握のため。

より犠牲となった消防団員の公務災害補償に要する経費不足のため、平成23年度に限り、掛金引上げである。

問 長島町安全安心な住環境作り事業について、住宅用火災警報器の設置状況調査と防災行政無線の不具合調査について、地域に密着した消防団員や自治公民館長に委託したほうが、効果的ではないか。

答 この事業が県の全額補助で、目的が雇用であるため雇用者全員ハローワークを通じての雇用となる。確かに消防団員や自治公民館長にお願いした方が効果的であるが、その中

に事業の対象となる方がいればお願いしたい。

▼企画財政課関係

問 空き家改修補助金について、以前改修した福ノ浦地区の空き家の活用と今後この事業の継続は。

答 福ノ浦の空き家については、町が借上げた上で改修を行い、建設課に移管して町営住宅として利用しており、この補助事業は、今後も継続する予定。

問 離島航路補助金について、平成22年度と比較して欠損額が増加しているが原因は。

答 波戸汽船のエンジン修理、獅子島汽船のエンジントラブル等の影響で欠損額が増加した。

▼保健衛生課関係

問 町民福祉課の老人福祉費の「地域支え合い体制づくり事業費」と「地域包括支援センター業務推進事業」との目的の違いは。

答 似ているところがあるが、地域包括支援センター業務推進事業については、高齢者宅を随時訪問し、実態把握および今後の適切な支援を行うための高齢者台帳を整備すること。また、二次予防事業の対象者へ介護予防教室の参加希望者のアセスメント等を行うことを目的に活動している。

問 現在の介護認定状況は。

答 6月末現在で、要支援1が43人、要支援

2が69人、要介護1が95人、要介護2が109人、要介護3が94人、要介護4が76人、要介護5が95人、合計581人が認定を受けている。

▼診療所関係

問 X線CT室の鉛ガラス等の修繕をするのは、国等からの指示があったのか。

答 国等からの指示はないが、技師等の健康面を考慮して自主的に修繕する。



診療所のX線CT室の鉛ガラス等を修繕

建設経済文教常任委員会 委員長 児島 薩男

▼社会教育課関係

問 英会話教室の受講生は何人か。講師を増員する計画か。

答 受講生は小学1年生から4年生までの生徒321人。講師は4人で増員はしない。今回の賃金は教材開発等のための講師の賃金である。

▼水道課関係

問 伊唐既設さく井調査の内容は。

答 現在伊唐地区の水源地は雨が降るとボウリングしているさく井抗の中に汚水が浸入するので新たに水源確保が必要となり、以前に畑かん用に利用していた地下ボウリングの水源があるため飲料水として利用できないか調査する。

▼農林課関係

問 鳥獣(イノシシ)被害防止施設について

3地区計画しているが他に申し込みはなかったか。また、今後の計画について。

答 今年7地区の要望があった。内3地区の決定については、県職員が現地に来て審査し、3地区を決定した。残り4地区については平成24年度以降に実施する予定。

▼建設課関係

問 住宅造成事業で小浜地区に予定している宅地について、1区画263万円から443万円と高額だが住宅建設費を加えると高くなる。造成費を下げて若者が購入しやすくないか。

答 造成工事費は公共事業単価で積算している。この程度の価格だと考える。現在3人の希望申し込みがある。今後希望者が増えると考えている。

▼耕地課関係

問 農道維持管理費で農道・排水路等の補修予算1990万円計上してあるが、何力所計画しているのか。

答 町内一円50力所を計画している。

問 当該地区が分譲地に至った経緯について。

答 当初、町が住宅を建設して賃貸する予定であったが、財政難により中止になった。民間活用で1件申込みがあったが公共性を配慮して中止した。分譲の条件は今後検討する。

▼教育総務課関係

問 給食搬送業者との契約の経緯と指江給食センターの器具・機械の利用状況について。

答 7月までは両センターで2業者をお願いしていたが統合により1業者を選定した。

▼学校教育課関係

問 教育振興費のスクールカウンセラー配置事業の内訳とスクールカウンセラーは資格が必要か。

答 スクールカウンセラーの自宅が薩摩川内

業者選定は、町の無線・町広報紙により公募した。その結果3社の応募があったが1社は辞退。残り2社の内1社と契約した。契約期間は平成26年3月までである。今回1期だけは統合による経過措置とした。また指江給食センターの機器類は冷凍庫1台、食缶消毒保管庫2セット、コンテナ6台、食材検収台1台を利用している。

問 指江給食センター跡地利用はどのように考えているか。

答 跡地利用について問い合わせもあるが行政財産から普通財産に所管替えした上で公募をかけていくことになる。

▼景観推進課関係

問 だんだん市場の経営状況が黒字になっていく中で、駐車場の増設など、たとえ町の施設といっても今後も町で整備するのか。

答 だんだん市場と町の関わりは、施設については町が設置する。施設の破損の修理等については指定管理者で

市の平佐町からの旅費。資格は臨床心理士の資格が必要。

問 観光費・長島町観光PR事業の賃金2人の業務内容について。

答 課内で詳細に検討した。人材雇用と短期間でのPR事業の計画ということで非常に難しい事業である。2人雇用し、町の観光と各イベントのPRなど含めてキャンペーンガールとして位置づけ、主に町外を対象に観光情報発信を行う予定。

▼水産商工課関係

問 計画している駐車場は国道よりだいぶ下がっているが出入り口など将来の計画はできているのか。

答 現状のまま石積みしても工事費が高く投資効果が少ない。入り口の国道法面は県に占有申請を出すか、買収するかして用地を確保する。隣接地については民有地の畑など相談して一緒にかさ上げして周囲も有効活用できないか考えている。港にいく町道も何らかの事業で一体とした整備ができればと考えている。

▼第2回花フェスタの開催期間は。

答 平成24年3月31日から5月6日までの37日間を予定している。

所管事務調査報告

総務民生常任委員会 委員長 礪永 秀生

総務民生常任委員会は7月7日、さつま町で所管事務調査を実施した。

当初計画では、7月6日に熊本県球磨郡山江村を訪問し、総務省が推進する「地域おこし協力隊」の取り組み状況も視察する予定だったが、同日、九州地方の記録的大雨により、本町でも土砂崩れや浸水、河川の増水などが発生したため、訪問を中止した。

さつま町では、同町議会を訪れ「議会活動の活性化」をテーマに研修し、特に議会報告会について具体的に調査した。この研修には

湧水町議会も同席され、3町議会の意見を交換することができた。

さつま町議会の概要は、定数20で男性議員19人、女性議員1人、常任委員会は総務、文教厚生、建設経済の3委員会、このほか議会運営委員会、議会広報特別委員会、行財政改革対策調査特別委員会、災害復旧対策調査特別委員会が設置されている。

さつま町議会は今年はじめに5月12日から20日のうちの5日間、議会報告会を開催している。報告会は1日に4地区、計20地区で実

の関係、近況報告等で30分程度にする
○意見交換はテーマを定める

○説明は全議員の統一見解を示し、議員個人の意見は言わない
○議員は出身地域以外の会場へ配置

○報告会後には、報告会全体の整理
○報告書を作成
○執行部でなければ回答できないものは執行部にたずねて公民館長へ回答

○町に対する意見・要望等は、まとめて議長から町長へ提出
○議会だより臨時号を発行し、議会報告会開催を周知

○報告会終了後の反省としては、
○住民との距離が縮まった

○議会からの報告は議会の役割、執行部と

○広報だけでは人は集まらない。公民館長等に呼びかけが必要
○準備をしっかりしていくことが大切

○議会からの報告は短くし、意見交換に時間を多く割く
○意見交換はテーマがないと注文取りになる

○記録者はまとめが大変
○口論になろうとした

○町に対する意見・要望等は、まとめて議長から町長へ提出
○議会だより臨時号を発行し、議会報告会開催を周知

○報告会終了後の反省としては、
○住民との距離が縮まった

○議会からの報告は議会の役割、執行部と

会場があった
などがあげられた。
今回の所管事務調査を通して、本町議会も

活動状況を広く周知し、町民の意見や提言を拝聴して、議会審議への活用や議会運営の改善を図る必要がある、町民が議会に関心

をもってよう、身近でわかりやすい議会活動を進めていくことが大切であると感じた。

○町に対する意見・要望等は、まとめて議長から町長へ提出
○議会だより臨時号を発行し、議会報告会開催を周知

○報告会終了後の反省としては、
○住民との距離が縮まった

○議会からの報告は議会の役割、執行部と



さつま町議会を訪れ、さつま・湧水の町議会と意見交換

議会のうごき

27 28日	28日	25日	22 28日	21日	20日	19日		15日	14日	12 13日	11日	8日	7日	5日	1日	7月	30日		24日	23日	9日	6月					
県町村議会議長会正副議長研修会	長島町戦没者追悼式	天長フェリー株式会社株主総会	阿久根地区消防組合例月出納検査	長島町決算審査	全国離島振興市町村議会議事会	長島町例月出納検査	長島町例月出納検査	長島町農業委員会総会	南九州西回り自動車道建設促進期成会	あづま海水浴場海開き安全祈願	平成24年度公立高等学校募集定員地区別説明会	南九州西回り自動車道整備促進に関する要望活動	長島町例月出納検査	建設経済文教常任委員会	議会議長会	長島町農業委員会総会	南九州西回り自動車道建設促進期成会	あづま海水浴場海開き安全祈願	平成24年度公立高等学校募集定員地区別説明会	南九州西回り自動車道整備促進に関する要望活動	長島町例月出納検査	全国離島振興市町村議会議事会	長島町決算審査	阿久根地区消防組合例月出納検査	天長フェリー株式会社株主総会	長島町戦没者追悼式	県町村議会議長会正副議長研修会

7日	6日	2日	9月	30日	25日	23日	22日		19日	18日	12日	9日	5日	4日	3日	1日	8月
長島町国保運営協議会	議会議長会	鹿児島県都市計画審議会	鹿児島県都市計画審議会	議会議長会	長島町国保運営協議会	鹿児島県都市計画審議会	議会議長会										



J R九州鹿児島支社へ要望活動



まちの話題



123点の超大作がお出迎え

町民一丸となって取り組む『ながしま造形美術展』が10月22日、`がんばろう日本！長島から夢と感動をプレゼント、をテーマに、太陽の里ピクニック広場で開幕した。

今回は、杉の葉やススキ、竹、松かさなど、まちの自然を生かして制作した1疋から5疋超級の作品123点が展示され、町内外から訪れる入場者に夢と感動を届けている。

造形美術展は11月20日まで開かれている。

しめやかに戦没者の冥福祈る

明治維新以降の戦争で亡くなられたかたがたを慰霊する杉ノ段招魂祭が9月25日、杉ノ段招魂墓地であった。

遺族や団体関係者、消防団員らが参列して、しめやかに神事が執り行われ、戦没者の冥福を祈り、平和の誓いを新たにした。

招魂墓地下の広場等では、ちびっ子相撲や剣道、弓道が奉納され、観覧席からたくさんの歓声や拍手が送られた。



◆編集後記

実りの秋を迎え、台風災害等もなく、平穏な長島町でありましたが、3月11日発生 of 東日本大震災では、今だに3800人強の不明者がいる中、関西地方を襲った豪雨被害・台風12号等の災害、近年は特にゲリラ的な集中災害が発生をいたします。

本町におきましても地震を想定した長島町総合防災訓練を9月4日に実施いたしました。が、災害は、いつ、どこで発生するか解りません。各公民館ごと、自主防災組織が100%設置されていますので、地域毎の自主防災に努め、日常災害意識を高めましょう。(池田)

【編集責任者】 濱上 實則
【編集委員長】 池田 廣

【委員】 植元 敏光
原口 秀昭
下塩見 浩
福永 伸親